

長崎検定

一級さん

Vol.18

改めて長崎を見直そう

白川政澄さん

合格率十二・二％。長崎歴史文化観光検定の最難関を突破した一級ホルダー。その卓越した識見には、なにやら一言ありそうです。
さつくはらんに寄稿願いました。

平成14年「長崎学」史跡巡りに初めて参加。歴史や文化財、史跡等の見聞に新鮮さを感じ歴史に魅せられた第一歩でした。

06年さるく博が実施され、近くに唐人屋敷跡、大徳寺公園、佐古小学校（小島養生所跡）がある自宅の前は、さるく博のコースになりました。連日、ガイドさんが数人の参加者を連れて説明しているのを目にします。私もボランティアで何かお役に立ってないかと思っていた折、TV等で検定試験があることを知りテキストを購入。平成19年に歴史や文化を学ぶには実際に見て肌で感じるが必要と考え、ガイドブックを携行し、史跡巡りを楽しみながら吸収していきました。

1級の受験対策として図書館で数多くの参考文献調べと、新聞の偉人伝など切り抜いて勉強しましたが、いろんな参考書を読むほどに南蛮人や西欧人等のカタカナの名前が、本によって違った読み方で表記されており、一体どれが本当なのか悩むこともありましたが、このやり方は力強い味方になってくれました。

今までは点でしか理解してなかった部分も線となり、有機的な結びつきで理解が増しました。

長崎開国から南蛮文化との関わり、出島・唐人屋敷の歴史的な役割、幕末から明治維新へと幾多の歴史的な変遷を経て、先人達が築き上げてきた長崎の町をさらに魅力あふれる町に発展させ継承していくことが、現代に生きる私達の務めであると考えます。

長崎の町で最も誇る観光地は長崎港です。自然の地形条件と魅力ある港町が融合した長崎特有の素晴らしい景観で、殊に高台から望む景色が好きで絶好のスポットを求めて探索しています。お気に入りの場所は、長崎港を一望の下に見渡せる鍋冠山展望台。眼下に見下ろす長崎港を眺望しながら、長崎開国からこの港を巡って様々な歴史が展開してきたであろう港内を、オランダ船や唐船、日本船が行き交う情景を往時に思いをはせて感慨に浸り歴史の重さを感じます。

興味で毎日、水辺の森公園を主に石橋電停

から大平橋までをウォーキングしていますが、よく旅行者の方から目的地への道順を聞かれます。この時は目的地付近まで同行して案内し初めての来崎であれば、長崎の年中行事を紹介するよう実践しています。長崎の観光地をもっと元気に育てていくためには、県外のリピーターを増やすためにも、長崎人の一人ひとりが「旅行者の方は、自分を訪ねて来た大事なお客様」と意識を変え、親切な案内と次に繋ぐきめ細かい対応を心掛けて接すれば、明日の長崎につながると信じます。

長崎の歴史、文化を学び、果てしない奥深さを感じますが、改めて長崎を見直すきっかけを与えてくれた長崎検定に感謝です。



【プロフィール】

1941年、長崎市生まれ。69歳。NTT定年退職。趣味は魚釣り、ウォーキング。青春時代から20年大阪在住